

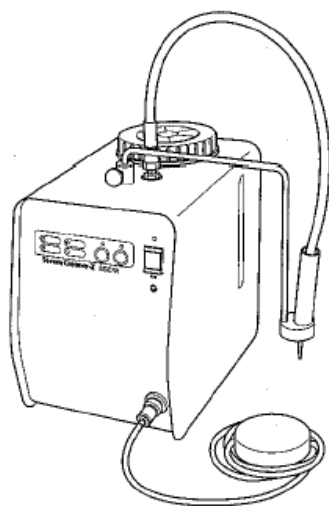


安全にお使いいただくために、
取扱説明書をよくお読みください。

Steam Cleaner-Z

松風 スチームクリーナーZ

取扱説明書



SHOFU INC.

～ はじめに ～

このたびは「松風スチームクリーナーZ」をご購入いただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は「松風スチームクリーナーZ」の正しい取り扱い方法と日常の点検、および注意について説明しています。

本器の性能を十分に発揮させ、また常に良好な状態を保っていただくため、ご使用になる前には本書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後もご使用になる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

～ おねがい ～

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容の一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成しておりますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。
- 乱丁、落丁の場合はお取り替えいたします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、保証の範囲に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなど、副次的トラブルについてはその責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

～ はじめに ～	
～ おねがい ～	
もくじ	i
●特徴	iii
●用途	iii
1. 安全にお使いいただくために	1
●警告表示について	1
●その他の表示について	1
●設置と接続について	2
●使用上について	2
●保守・点検について	3
2. 各部の名称とはたらき	4
●前面	4
●背面	5
3. 設置と接続、および前準備	6
3.1 設置と接続について	6
3.2 各部の取り付け	7
●排水ホースの取り付け	7
●ハンドピースとスチームホースの取り付け	7
●フットスイッチの取り付け	8
●イオン交換器の取り付け	8
3.3 給水	9
3.4 電源の接続	9
3.5 水質の設定	10
4. 使用方法	11
4.1 始動前確認	11
4.2 始動	12
4.3 スチーム洗浄	13
4.4 水の補給	14
4.5 終了	14

5. 保守作業	15
5.1 イオン交換器の再生	15
●再生手順	15
●水質設定スイッチのリセット	17
5.2 ドレン排水（凍結防止および長期保管処置）	18
5.3 熱交換器の洗浄	20
6. 異常を感じたら	23
●異常保護機能について	24
●保護停止後の再始動	24
●修理依頼について	24
7. 仕様	25
8. 付属品・別売品	25
9. 保証について	25

●特 徴

1. 新型熱交換器の採用により、省電力で強力な洗浄力が得られます。
2. 電源スイッチを「ON」にしてから2～3分で使用できます。
3. スチームランプの点灯により、蒸気の使用可能時期をお知らせします。
4. アラームとランプにより、イオン交換器のメンテナンス時期をお知らせします。
5. イオン交換器は新採用のイオン交換フィルターにより、食塩水で簡単に再生使用することができます。
6. 水タンクを内蔵しておりますので場所を取りません。また、給水ランプにより給水時期をお知らせします。
7. 空炊き・過熱防止の監視機能を備えています。
8. ハンドピースは、フリーハンド・固定の使い分けが容易です。

●用 途


歯科技工作業における洗浄作業


1. 安全にお使いいただくために

本器を安全にお使いいただくために、以下の事項を必ず守ってください。

●警告表示について

本書では安全に関する重要な注意事項を「警告」「注意」に分類して説明しています。必ず各内容をよくお読みのうえ、厳守してください。
各警告表示の内容は次のように定義されています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があることを表しています。
---	--

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。
---	--

●その他の表示について

警告表示以外については下記の通りです。

注記：

- ・この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、器械が正常に作動しない可能性があることを表しています。



この表示は使用時の作業をよりわかりやすくするための補足説明です。



この表示はご覧いただきたい参照先を表しています。

●設置と接続について

⚠ 警告

- **必ずアースを接続すること。**
万一本器内部で漏電した場合、火災や感電のおそれがあります。
- **引火性や、可燃性のものを近くに置かないこと。**
爆発や、火災のおそれがあります。
- **水のかかるような場所に置かないこと。**
感電、漏電、および発火のおそれがあります。

⚠ 注意

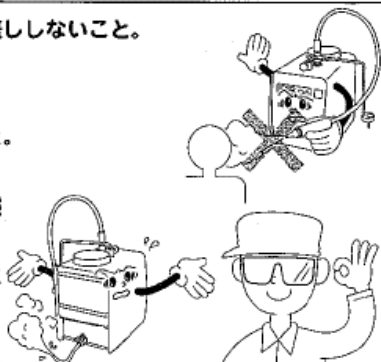
- **交流100V-15A以上のコンセントを電源とすること。**
また、他の機器を同一コンセントに接続しないこと。
加熱による発火のおそれがあります。
- **コンセントは緩んでいたり、ホコリのたまったものを使用しないこと。**
また、風通しの良いこと。
加熱による発火のおそれがあります。
- **機器の重さに十分耐えうる水平な台に設置し、側面、および背面は壁面より10cm以上のスペースを設けること。**
本体の落下によるけがや、放熱されず発火するおそれがあります。



●使用上について

⚠ 警告

- **濡れた手で電源プラグをコンセントより抜き差ししないこと。**
感電のおそれがあります。
- **本体に蒸気や水をかけないこと。**
- **水タンクの上限水位線を越えて給水しないこと。**
感電や火災のおそれがあります。
- **ハンドピース（蒸気噴射口）は、いかなる状態の時でも絶対に人や顔などに向けないこと。**
- **蒸気が残っていたり本体が熱いときは、絶対に排水コックA（赤）を開けないこと。**
蒸気や熱水でやけどをするおそれがあります。
- **作業時は、保護眼鏡等の保護具を着用すること。**
ワックスや埋没材の飛散による目の損傷等の原因になることがあります。



⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜くこと。
けがややけど、絶縁劣化による感電や火災のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理な力を加えたりしないこと。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないこと。
電源コードが破損し、感電や火災のおそれがあります。
- 使用後は電源スイッチを切ること。また、長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜くこと。
絶縁劣化による感電や火災のおそれがあります。
- 蒸気が出るのを確認してから洗浄すること。
最初に熱水が出ることもあるので、やけどをするおそれがあります。
- 運転中のノズル、ホース接続部、および上面は高温なため、直接手で触れないこと。
誤って触れるとやけどをするおそれがあります。
- この取扱説明書に記載の用途以外には使用しないこと。



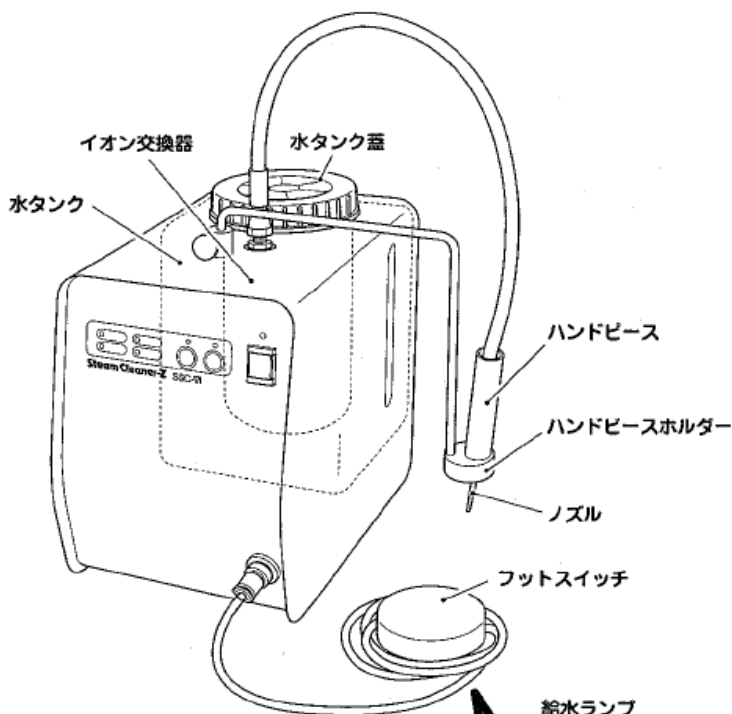
● 保守・点検について

⚠ 警告

- 機器の点検や清掃を行うときは電源スイッチを切り、機器が完全に冷めていることを確認してから行なうこと。
感電やけが、火災のおそれがあります。
- ヒューズ交換以外の分解、修理や改造は絶対に行なわないこと。
異常動作によるけがや感電、火災のおそれがあります。
- ヒューズの点検、交換は電源プラグをコンセントから抜いてから行なうこと。
感電、やけどのおそれがあります。
- ヒューズは必ず指定（15A）のものを使用すること。
感電、火災のおそれがあります。

2. 各部の名称とはたらき

●前面



給水ランプ

・簡欠音（ピーピー音）と同時に点滅し、給水時期をお知らせします。

過熱ランプ

- ・連続音（ビー音）と同時に点滅し、熱交換器が異常過熱したことをお知らせします。
- ・点滅時、過熱防止装置が作動しヒータは非常停止します。

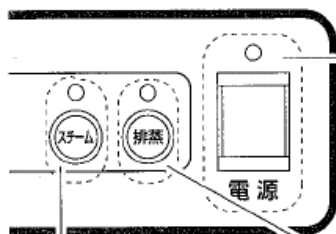
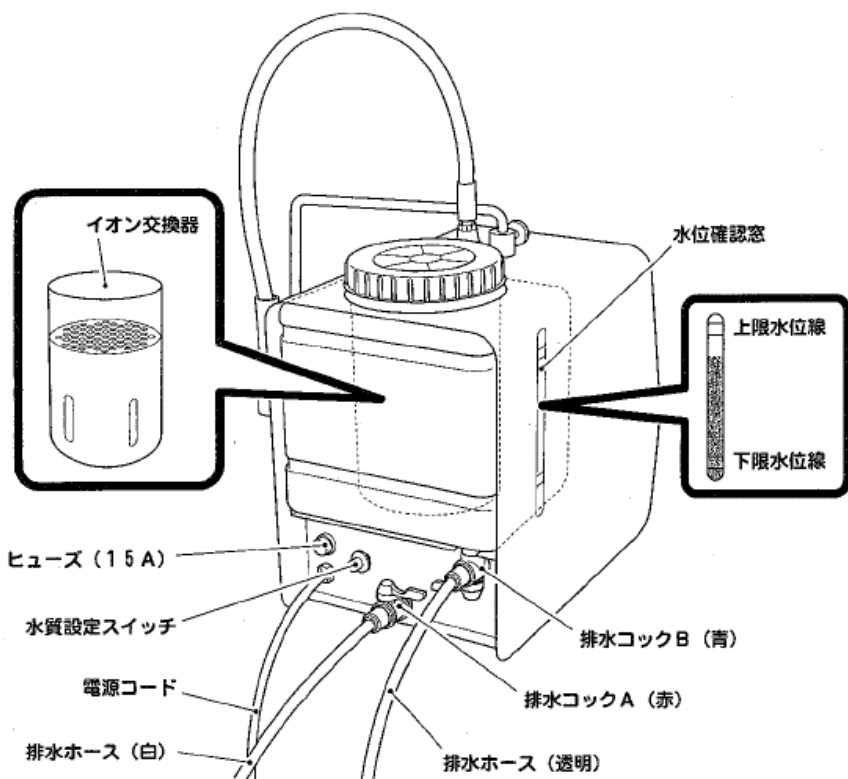
空炊きランプ

- ・連続音（ビー音）と同時に点滅し、熱交換器への給水が不足したことをお知らせします。
- ・点滅時、空炊き防止装置が作動しポンプとヒータは非常停止します。

イオン交換器ランプ

- ・簡欠音（ビビビビ音）と同時に点滅し、イオン交換器の再生時期をお知らせします。

●背面



電源スイッチ・ランプ

- ・電源スイッチは押しボタン式で、押すと「ON」になり、さらに押すと「OFF」になります。
- ・電源スイッチを「ON」にすると、ランプが点灯します。

スチームスイッチ・ランプ

- ・蒸気が規定圧力に達すると、ランプが緑色に点灯してお知らせします。
- ・スチームスイッチを「ON」にするとランプが橙色に点灯して、連続して蒸気が噴射されます。

排蒸スイッチ・ランプ

- ・排蒸スイッチを「ON」にするとランプが点灯し、熱交換器内の蒸気排出のみ行ないます。
- ・排蒸スイッチを押しながら電源スイッチを「ON」にすると熱交換器内のドレン排出が行なえます。

3. 設置と接続、および前準備

本器の設置と接続のしかたについて説明しています。また、運転開始前に必ず行なう必要のある処理（前準備）についても説明しています。

⚠ 警告

- 必ずアースを接続すること。
万一本器内部で漏電した場合、火災や感電のおそれがあります。
- 引火性や、可燃性のものを近くに置かないこと。
爆発や、火災のおそれがあります。
- 水のかかるような場所に置かないこと。
感電、漏電、および発火のおそれがあります。

⚠ 注意

- 交流100V-15A以上のコンセントを電源とすること。
また、他の機器を同一コンセントに接続しないこと。
加熱による発火のおそれがあります。
- コンセントは緩んでいたり、ホコリのたまったものを使用しないこと。
また、風通しの良いこと。
加熱による発火のおそれがあります。
- 機器の重さに十分耐えうる水平な台に設置し、側面、および背面は壁面より10cm以上のスペースを設けること。
本体の落下によるけがや、放熱されず発火するおそれがあります。

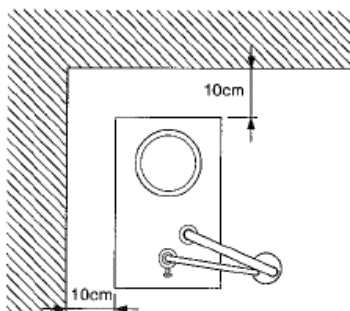
3. 1 設置と接続について

1. 使用に際しては凍結や結露状態のない一般技工室で正常かつ安全に機器の操作ができる状態で使用してください。

注記：

- ・ 湿気、温度の高い場所や直射日光の当たる場所は避けてください。

2. 機器の重さに十分耐えうる水平な台に設置し、側面、および背面は壁面より10cm以上のスペースを設けてください。



3. 2 各部の取り付け

●排水ホースの取り付け

1. 排水コックの排水ホース接続口に排水ホースを十分に差し込んでください。

注記：

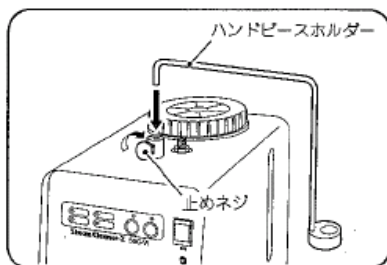
- ・排水ホースは、2種類（白・透明）あります。白を排水コックA（赤）に、透明を排水コックB（青）に差し込んでください。



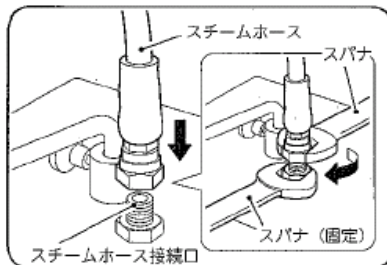
2. 2本の排水ホースは折れないようにして、先を流し台の中に入れてください。

●ハンドピースとスチームホースの取り付け

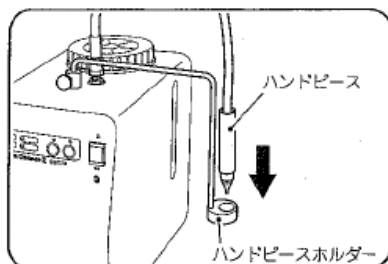
1. ハンドピースホルダーを左右いずれか便利な方向に向けて取付け、止めネジで固定してください。



2. スチームホースをスチームホース接続口に取り付け、2つのスパナを使い、一方で本体側のナットを固定しながら強く締め付けてください。

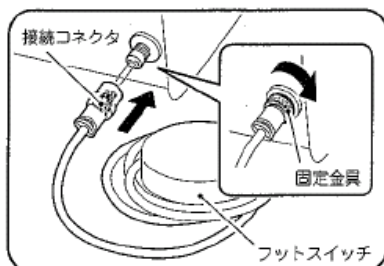


3. ハンドピースをハンドピースホルダーに取り付けてください。



●フットスイッチの取り付け

1. 本体前面にある接続口にフットスイッチの接続コネクタを、ピンを合わせて差し込み接続してください。
2. 固定金具でしっかりと締め付けてください。

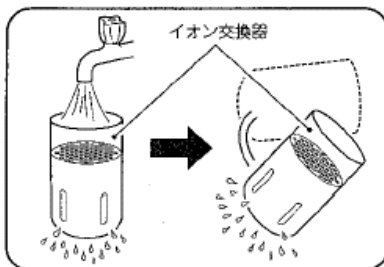


●イオン交換器の取り付け

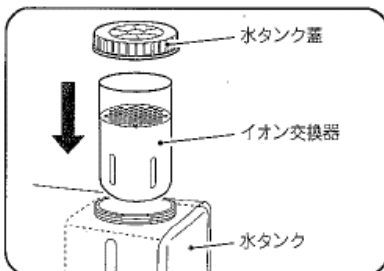
1. 流し台で、イオン交換器に2～3Lの水道水を注いで水通した後、軽く水を切ってください。

注記：

- ・水通しが不十分だと、噴射する蒸気に異臭がする場合があります。異臭がしたら「5.2 ドレン排水」の処置後、再度イオン交換器の水通しを行なってください。



2. 水タンクの蓋を開け、イオン交換器を取り付けてください。



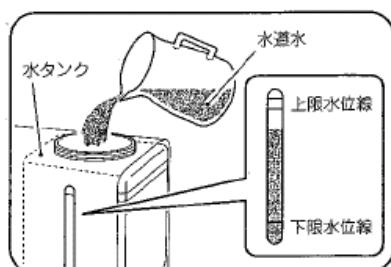
3. 水タンクの蓋を軽く締めてください。

3. 3 給水

1. 水タンクの蓋を開け、イオン交換器は入れたまま水道水を給水してください。

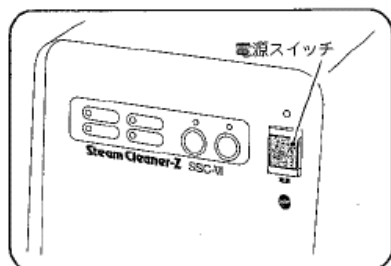
注記：

- ・水タンクは、約3.8 L入ります。水タンクの上限水位線を越えないようにしてください。
- ・イオン交換器はイオン交換フィルタを内蔵しており、若干注水性が悪くなっております。一気に水を注ぐと溢れる場合がありますのでご注意ください。

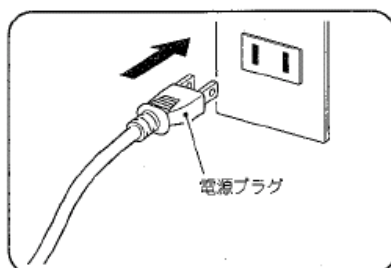


3. 4 電源の接続

1. 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。




2. 電源プラグを100Vコンセントに差し込んでください。



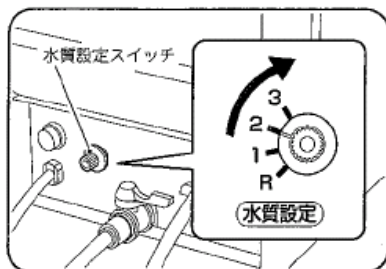
3. 5 水質の設定

使用する水の水質（全硬度）によって、イオン交換器の再生時期を設定します。

1. 付属の水質検査キットにて使用水の水質（全硬度）を測定してください。

 測定方法については、「水質検査キット」に添付の取扱説明書を参照してください。

2. 水質に合わせて水質設定スイッチを設定してください。



水質設定スイッチ	全硬度	処理能力
R	リセット	—
1	全硬度 100 以上	50 L
2	全硬度 100 以下	100 L
3	全硬度 50 以下	200 L

4. 使用方法

本器の使用方法について説明しています。

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグをコンセントより抜き差ししないこと。
感電のおそれがあります。
- 本体に蒸気や水をかけないこと。
- 水タンクの上限水位線を越えて給水しないこと。
感電や火災のおそれがあります。
- ハンドピース（蒸気噴射口）は、いかなる状態の時でも絶対に人や顔などに向けないこと。
- 蒸気が残っていたり本体が熱いときは、絶対に排水コックA（赤）を開けないこと。
蒸気や熱水でやけどをするおそれがあります。
- 作業時は、保護眼鏡等の保護具を着用すること。
ワックスや埋没材の飛散による目の損傷等の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜くこと。
けがややけど、絶縁劣化による感電や火災のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理な力を加えたりしないこと。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないこと。
電源コードが破損し、感電や火災のおそれがあります。
- 使用後は電源スイッチを切ること。また、長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜くこと。
絶縁劣化による感電や火災のおそれがあります。
- 蒸気が出るのを確認してから洗浄すること。
最初に熱水が出ることがあるので、やけどをするおそれがあります。
- 運転中のノズル、ホース接続部、および上面は高温なため、直接手で触れないこと。
誤って触れるとやけどをするおそれがあります。
- この取扱説明書に記載の用途以外には使用しないこと。

4. 1 始動前確認

電源スイッチを「ON」にする前に下記の項目を確認してください。

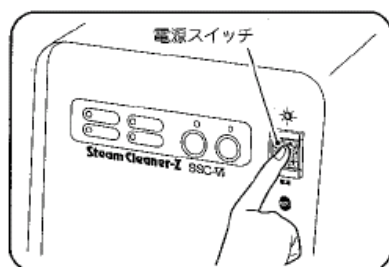
1. 排水コックA・Bが閉まっていることを確認してください。
2. 水タンクに規定量の水が入っていることを確認してください。



4. 2 始動

購入後初めての始動または凍結防止処置等の排水処理後に再始動する場合

1. 電源スイッチを「ON」にしてください。

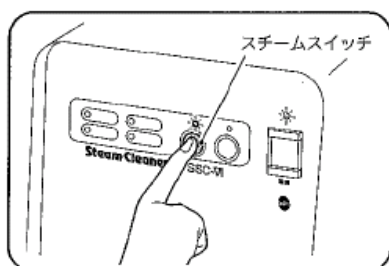


2. ポンプの運転音が開始したらスチームスイッチを「ON」にしてください。

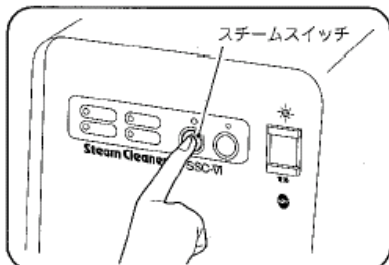


・電源スイッチを「ON」にしてからポンプの運転までに、約2秒かかります。

・最初にポンプ運転音が大きい場合がありますが、異常ではありません。



3. ポンプの運転音が停止したらスチームスイッチを「OFF」にしてください。

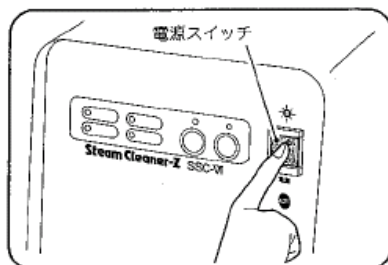


日常の始動の場合

1. 電源スイッチを「ON」にしてください。



・日常の始動の場合、ポンプが作動しなかったり、運転音が短かかったりする場合がありますが故障ではありません。



4. 3 スチーム洗浄

1. スチームランプが緑色に点灯しているか確認してください。



2. フットスイッチを踏むか、スチームスイッチを「ON」にするとノズルから蒸気が噴射されます。

注記：

・噴射後でも、ホース経路に残っている蒸気や熱水が出る場合がありますので注意してください。

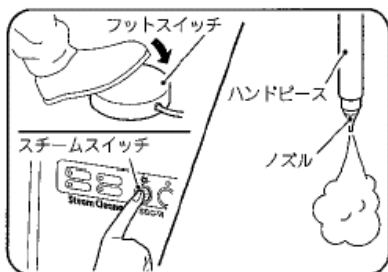


・スチームランプが消灯しているときでも使用可能な場合もありますが、圧力が十分でないため蒸気の力が弱いことがあります。

・蒸気は連続噴射が可能ですが、噴射後20～30秒で噴射圧が少し弱くなりますので短時間の間欠噴射がより効果的です。

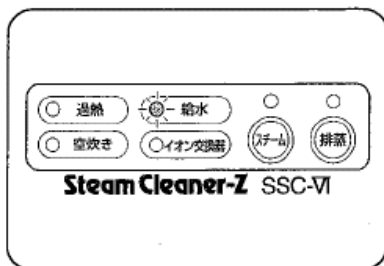
・連続噴射等で洗浄力が落ちたと感じたら、噴射を止めてスチームランプが緑色に点灯するのをお待ちください。洗浄力が戻ります。

・石膏模型等をノズルに近づけすぎると、表面を荒らす場合がありますのでご注意ください。




4. 4 水の補給

水タンク内の水が残り少なくなると給水ランプが点滅し、給水が必要であることをお知らせします。



1. 電源スイッチを「OFF」にしてください。

2. 水を補給してください。

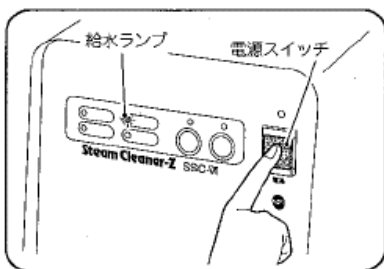
 水の補給方法については「3. 3 給水」を参照してください。

注記：

- ・必ず電源スイッチを「OFF」にしてから水を補給してください。

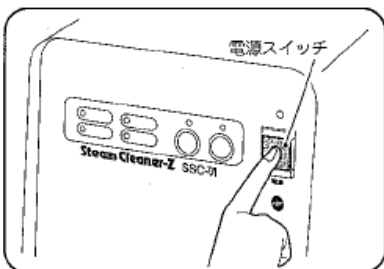


・給水せずに使い続けると、水タンクの水がなくなった時点で空炊きランプが点滅し、ポンプ、およびヒータを非常停止します。



4. 5 終了

終業後は必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。



5. 保守作業

本器は、必ず下記保守作業を行なってください。

⚠ 警告

- 機器の点検や清掃を行うときは電源スイッチを切り、機器が完全に冷めていることを確認してから行なうこと。
感電やけが、火災のおそれがあります。
- ヒューズ交換以外の分解、修理や改造は絶対に行なわないこと。
異常動作によるけがや感電、火災のおそれがあります。
- ヒューズの点検、交換は電源プラグをコンセントから抜いてから行なうこと。
感電、やけどのおそれがあります。
- ヒューズは必ず指定（15A）のものを使用すること。
感電、火災のおそれがあります。

5. 1 イオン交換器の再生

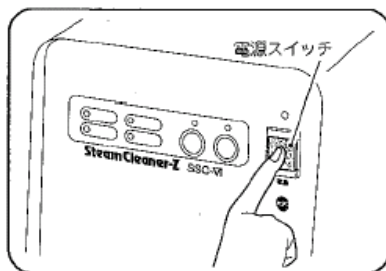
アラーム音とともにイオン交換器ランプが点滅したら、イオン交換器の水処理能力が低下したことをお知らせしています。下記手順によりイオン交換器を再生してください。

注記：

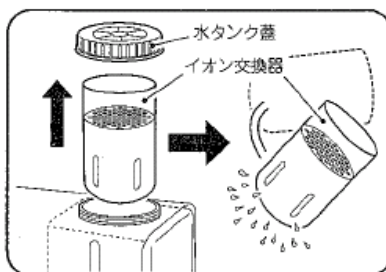
- ・イオン交換器は再生による繰り返し使用が可能ですが、ゴミ侵入等による汚れが著しい場合は交換をお願いします。

●再生手順

1. 電源スイッチを「OFF」にしてください。



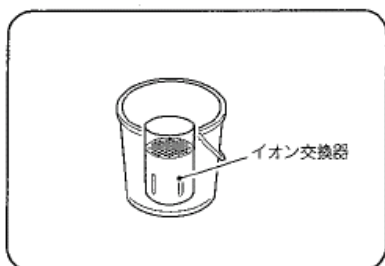
2. イオン交換器を本体から取り出し、軽く水を切ってください。



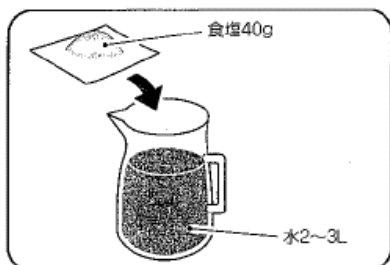
3. イオン交換器が納まる程度の容器に入れてください。

注記：

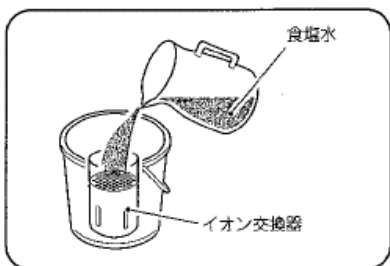
- 再生作業で、内蔵のフィルタはイオン交換器から絶対に取り出さないでください。



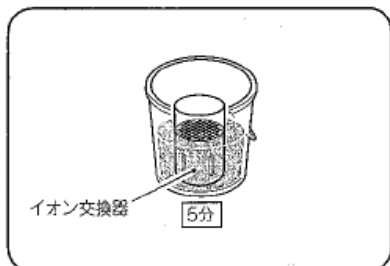
4. 別容器で2～3 Lの水に、食塩約40gをよく溶かしてください。



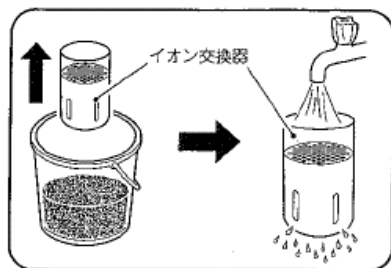
5. 手順4の食塩水をイオン交換器に注いでください。



6. そのまま5分程度食塩水に浸しておいてください。



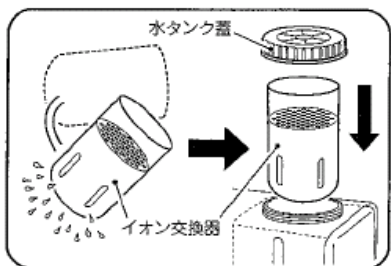
7. イオン交換器を取り出し、3 L以上の流水をイオン交換器に通してください。



8. 軽く水を切ってから本体に取り付けてください。

注記:

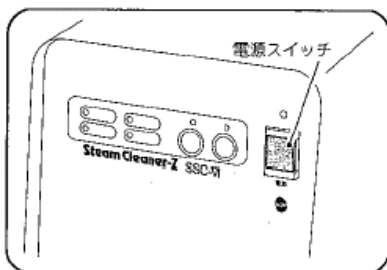
- ・イオン交換器を再生したら、下記手順に従って必ず水質設定スイッチをリセット (R位置) してください。



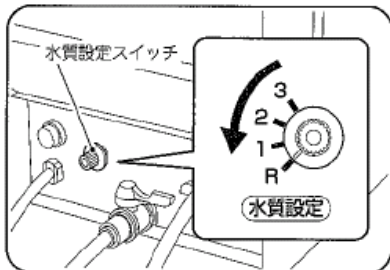
●水質設定スイッチのリセット

イオン交換器を再生したら、下記手順により水質設定スイッチをリセットしてください。

1. 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

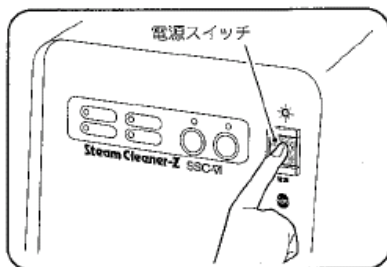


2. 水質設定スイッチをR位置に設定してください。



3. 電源スイッチを「ON」にしてください。

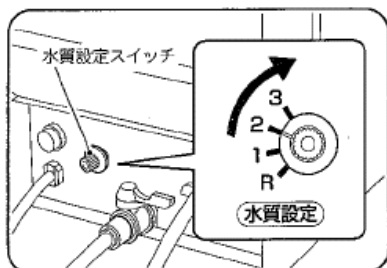
アラーム音とともにイオン交換器ランプが点滅します。



4. 水質設定スイッチを元のレベルの設定に戻してください。

注記：

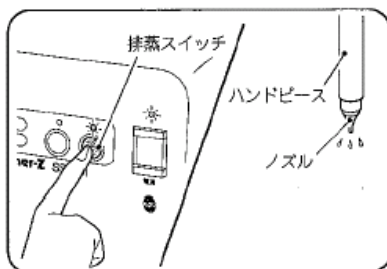
- ・イオン交換器ランプが点滅する前に水質設定スイッチを操作しないでください。正確な検知ができずトラブルの原因となります。



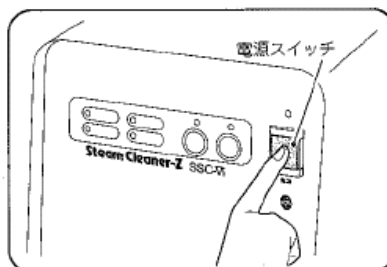
5. 2 ドレン排水（凍結防止および長期保管処置）

終業後、凍結のおそれのある場合、または長期間使用しない場合には次のドレン排水処置を行なってください。

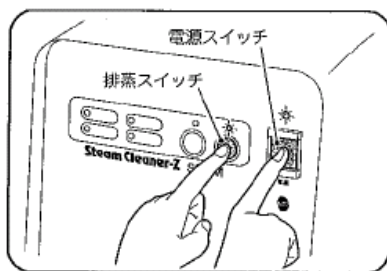
1. 排蒸スイッチを「ON」にして排蒸し、ノズルから蒸気が出ないことを確認してください。



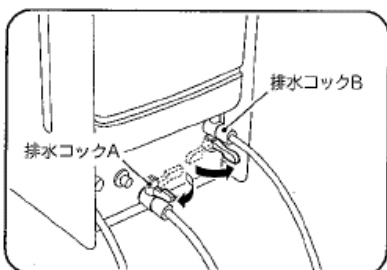
2. 電源スイッチを「OFF」にして5～10分程度本体が冷めるのを待ってください。



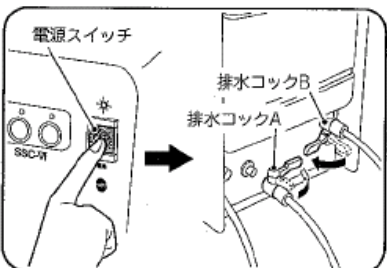
3. 排蒸スイッチを押しながら電源スイッチを「ON」にしてください。



4. 水ポンプの運転音がしたら排水コックA・Bを開けてください。
5. 2つの排水ホースからドレンが出なくなるまで排水してください。



6. 電源スイッチを「OFF」にし、排水コックA・Bを閉めてください。



注記：

- ・ドレン排水が終わればすみやかに電源を「OFF」にしてください。長時間放置しておくとポンプの故障の原因になります。
- ・ドレン排水で、排水ホース（白）からスケールが出てくる場合は、次項「5. 3 熱交換器の洗浄」を行ってください。




・排水時、給水ランプが点滅しますがそのまま運転を続けてください。

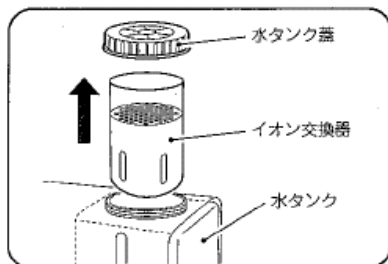
5. 3 熱交換器の洗浄

本器はイオン交換器でスケール成分を除去しておりますが、イオン交換器で除去しきれない水分中の蒸着残留物により、熱交換器が汚損される場合があります。別売のスチームクリーナー用洗浄液で年に1~2回、熱交換器の洗浄を行なってください。

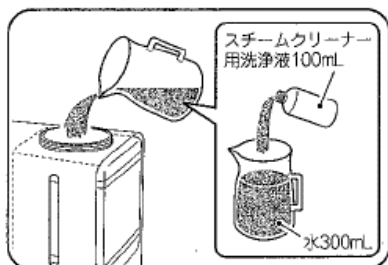
1. 本体内の水を排出してください。

 排水方法については「5. 2 ドレン排水（凍結防止および長期保管処置）」を参照してください。

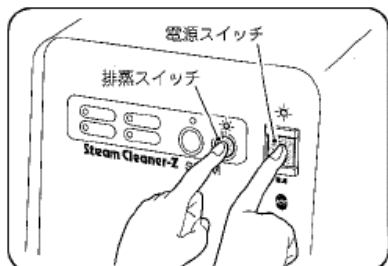
2. イオン交換器を取り出してください。
3. 水タンク内が汚れていないか確認してください。汚れていれば汚れを取り除いてください。



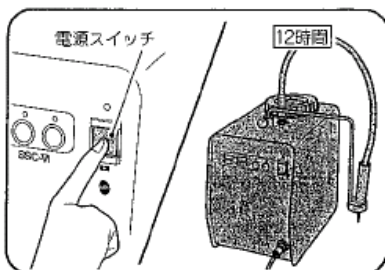
4. 水タンクに洗浄液100 mLと水300 mLを入れてください。
(水300 mL + スチームクリーナー用洗浄液100 mL)



5. 排蒸スイッチを押しながら電源スイッチを「ON」にしてください。

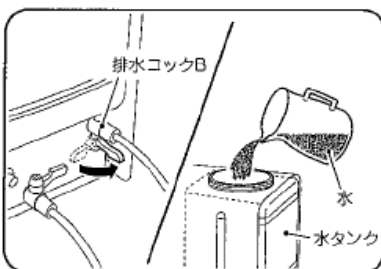


6. ポンプの運転音が止まったら電源スイッチを「OFF」にしてください（排水コックA・Bは開けたままにしておいてください）。

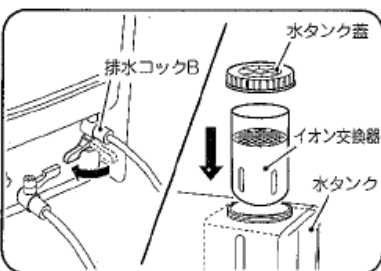


7. そのまま約12時間放置してください。


8. 排水コックB（青）を開け、残った洗浄液を排出後、約1Lの水を注ぎ水タンク内の洗浄液を洗い流してください。



9. 水が無くなったら排水コックB（青）を閉め、イオン交換器を取り付けてください。



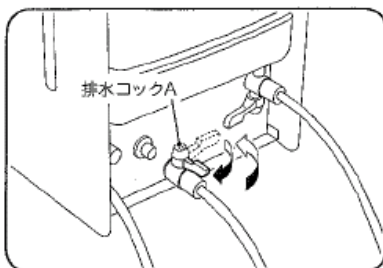
10. 給水してください。

 給水方法については「3. 3 給水」を参照してください。

11. 排蒸スイッチを押しながら電源スイッチを「ON」にしてください。

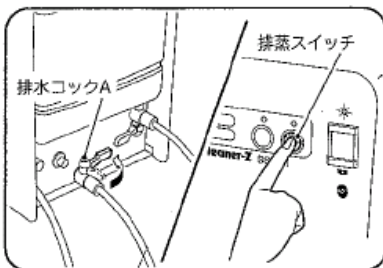


12. ポンプの運転音が止まったら、排水コックA（赤）を開け、10秒程度排水したらまた閉めてください。



13. 排水ホース（白）からスケール混じりの水が出なくなるまで、手順12の排水コックA（赤）の開閉作業を数回繰り返してください。

14. 透明な水が排出されるのを確認したら、排水コックA（赤）を閉め、排蒸スイッチを「OFF」にしてください。
通常運転になります。



注記：

- ・洗浄液は強酸性ですので取り扱いに注意してください。
- ・廃液はアルカリ性中和剤でPHを調整してから処分してください。

7017-1003

6. 異常を感じたら

本器を使用中に異常を感じたら直ちに使用を中止して、点検・修理を依頼してください。

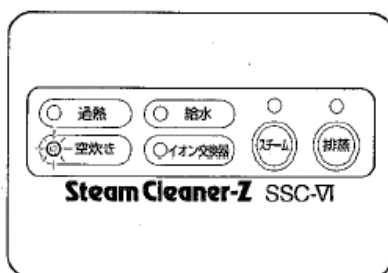
なお、下記のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度確認してください。

異常動作および異常表示	原因	対策
電源スイッチを「ON」しても作動しない(電源ランプも点灯しない場合)	① 電源コードが接続されていない ② ヒューズ切れ	① 電源コードを接続してください ② ヒューズ(15A)を交換してください
蒸気が出ない・加熱しない(スチームランプも点灯しない場合)	① 排蒸スイッチが「ON」になっている	① 排蒸スイッチを「OFF」にしてください
蒸気が出ない(スチームランプが点灯している場合)	① ノズルのつまり	① ノズルの清掃をしてください
蒸気の出が悪い・悪くなった	① ノズルのつまり ② ヒータにスケール付着	① ノズルの清掃をしてください ② 洗浄液処理を行ってください ☞ 「熱交換器の洗浄」参照
空炊きランプが点滅する	① ポンプに空気が混入	① 再始動してください ☞ 「保護停止後の再始動」参照

●異常保護機能について

保護機能が働くと「空炊きランプ」「過熱ランプ」が点滅し、一部を除いて機能は停止します。

- ・空炊きランプ
内蔵の熱交換器に水が不足すると点滅、ポンプとヒータが非常停止します。
- ・過熱ランプ
内蔵の熱交換器が異常過熱すると点滅、ヒータが非常停止します。
- ・電流ヒューズの溶断
過電流の時はヒューズ溶断で保護します。
- ・温度ヒューズの溶断
異常過熱で保護機構が働かない時はヒューズ溶断で保護します。



●保護停止後の再始動

空炊きランプや過熱ランプが点滅し保護停止したときは下記要領で再始動してください。
なお、頻繁にランプが点滅する場合は、機器の故障が考えられますので点検修理を依頼してください。

空炊きランプが点滅した場合

1. 給水ランプが点滅していないか確認してください。
点滅している時は、水を補給してください。
2. 排蒸スイッチを「ON」にして、熱交換器内の残留蒸気を排出してください。
3. 完全に蒸気が排出された後、排蒸スイッチを「OFF」にしてください。
4. ポンプの運転音が開始すると、スチームスイッチを「ON」にしてください。
5. ポンプの運転音が止まったら、スチームスイッチを「OFF」にしてください。

過熱ランプが点滅した場合

1. 排蒸スイッチを「ON」にして、熱交換器内の残留蒸気を完全に排出してください。
2. 電源スイッチを「OFF」にして、そのまま機器が十分に冷めるまで放置してください。
3. 電源スイッチを「ON」にしてください。
通常運転に移ります。

■ 注記：

・機器が熱いうちに再始動すると過熱ランプが再点滅することがあります。

●修理依頼について

修理依頼で発送されるときは、保守作業のドレン排水（凍結防止および長期保管処置）の項に従って水を完全に抜いてから発送してください。

7. 仕様

電源	AC100V・50/60Hz
定格電源	1250W
蒸気発生方法	貫流式特殊小型蒸気ボイラー
使用水質	一般水道水
蒸気制御圧力	0.71~0.59MPa
安全機能	1. 安全弁設定圧力 0.96MPa 2. 過熱防止 サーモスタット、温度ヒューズ 230℃ 3. 空炊き防止 タイマー 4. 過電流防止 電流ヒューズ 15A
排蒸・排水	電磁弁操作蒸気抜き、および排水コックによる排水
消費水量	約27mL/15秒噴射
水タンク	内蔵・容量 約3.8L
イオン交換器	交換能力 100L (全硬度100の場合)
本体外形寸法	約W223×D355×H336
本体質量	約12kg

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

8. 付属品・別売品

●付属品

スチームホース	1本
フットスイッチ	1個
ハンドピースホルダー	1個
イオン交換器	1個
排水ホース(白) 4m	1本
排水ホース(透明) 2m	1本
水質検査キット(標準カラーチャート・説明書付)	1セット
取扱説明書	1冊
保証書	1枚

●別売品

スチームクリーナー用洗淨液(1L)

9. 保証について

本製品は厳重な検査を経て出荷されておりますが、保証期間内(お買いあげより1年間)に正常な使用状態において万一故障した場合には、無償で修理いたします。詳しくは、添付している保証書をご覧ください。